

田口線で、ちよつと昔を訪ねてみませんか

田口線が廃止となり三十八年が過ぎました。ちよつと昔の話となりました。

営業開始が昭和四年。廃止が昭和四十三年。約四十年間の営業でした。その間の乗客数約三千三百七十九万五千人と記録されています。多くの人々の、多くの出来事や、その時々を思いを運んでくれた田口線です。

その思い出を私達に語りかけてくれる車両が奥三河郷土館に展示されています。「モハ14」です。

車両の中には当時を語る写真や田口線の用具が展示されています。

館内では、田口線運行中のビデオを見ることが出来ます。

「モハ14」に会いに来てみませんか。



通学・通勤のこと。

高度経済成長期は活気にあふれ、人の乗り降りが賑やかで、満員電車に乗ったこと。

そして、戦地に向く家族を乗せたのも田口線。

「モハ14」に出会い、あなたの青春を語ってみてはいかがですか。

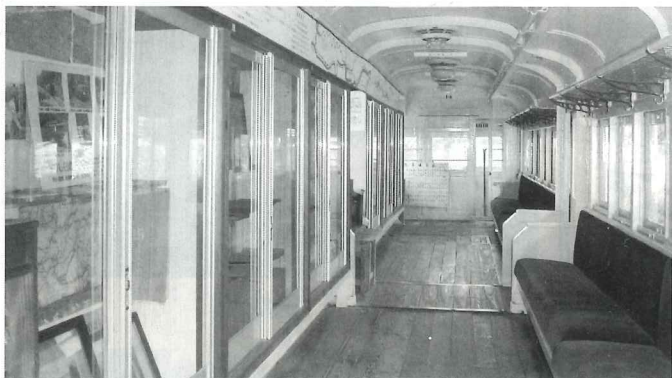
田口線と共に生活した人々の様々な願いや、先人の努力に触れ合えると思います。

駅舎で現存するのは三河田口駅、だけとなりました。それも崩壊寸前です。

線路敷は、通行可能の所もあります。田口・清崎間を散策すると、寒狭川沿いにトンネル等懐かしい田口線に会うことができます。

田口線で、ちよつと昔を訪ねてみませんか。

(奥三河郷土館 加藤紘市)



昭和37年 車内の様子